

With Satoyama

里山・里池
エコトーンに
想いを馳せて



里山・里池

エコトーンに*

想いを馳せて

※エコトーンとは p.5 参照

私たちの想い	3
エコトーンとは	5
セミナー報告	6
幸田町内マップ	11
幸田町内のエコトーン	
坂崎小学校区	13
幸田小学校区	17
中央小学校区	21
荻谷小学校区	25
深溝小学校区	29
豊坂小学校区	33
将来像	37
まとめ	53
識者の言葉	55



幸田町は 里山一番地



そこは人が人らしく暮らせるところ。

恵まれた地勢と先人が遺してくれた貴重な資源を生かして
私たちはここに子どもたちはもちろん
高齢者にも明るい未来を創っていきたい。

里山は私たちにとって一番身近な自然。
山からの水が池に流れ込む間の水際「エコトーン」こそが、
生物多様性に最も適した場所だと言われている。
私たちはまさにそこで他の生き物と共生しているのだ。
稜線に囲まれ、どこに家も建てても山が見える。

里山からのしずくが小川となり、ため池に注ぎ込む。
そこから川となり田畑を潤し、里を流れ、やがて海に向かう。

その里に住まう人々は、里山の稜線に癒され、
水際の生き物たちによって感性が育まれる。

緑がお日様を反射し、私たちに力を与えてくれる。
森が空気を浄化してくれる。土が作物を育ててくれる。
遊んでくれたり、話を聞いてくれたり、慰めてくれたりもする。

人も生き物である限り、自然を必要としている。
しかし人がそれを独占してしまうと、他の生き物が生きる場を失う。
ともに仲良くできれば、お互いにとって安心の場となるだろう。

旧幸田町と旧豊坂村が合併した幸田町には分水嶺が2つあり、遠望峰山や桐山・水晶山からの雨の一滴が多数の溜め池を形成^②している。

広田川は矢作川に流れ込み、西尾・碧南を通り数十キロを旅して三河湾へ。拾石川も蒲郡を通じて直接三河湾へ。その途中に里山があり、生物の宝庫となる森と田畑が広がっている。まさにエコトーンそのもの。

しかし、その一方で生産性や採算を考えると業として成り立たなくなってしまう耕作放棄地も少なくありません。

それでは発想を変えて、収穫を目的としない「環境農家」^③はどうだろうか？

提唱者の今森光彦氏によれば、「生産性は著しく低い、昆虫・動物を受け入れる共生型農業」だという。65歳までが「生計就労」だとしたら、それ以降は「生きがい就労」が健康寿命の延伸に良い^④のではないだろうか？

人の手が加わることで里山を守り伝えることにつながる。子どもたちが幼少期から感性を育み、身近に環

境を学ぶ場がある。生きがいを感じられる就労や多世代交流の場にもなるだろう。

これからの高齢者福祉は、清潔な施設に閉じ込めることなどではなく、小さなことでも生涯誰かの役に立つ、人同士の交流を絶やさないとではないだろうか。

知を愛する者が集まり、幸せの田を耕すところ。そこで里山ウェルビーイングを実現していただきたい。そんな未来がイメージできそうなのが我がまち愛知県幸田町なのである。

「ウェルビーイング」とは、身体的な健康を意味します。満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態などの多面的な幸せを表します。

「里山」とは

里山とは都市や集落に近い山すそで、農業や果樹園芸、あるいは林業など多様な土地利用が行われている地域一帯を指し、人と自然が長年関わることで、独自の複雑な生態系が築かれています。



① 尾張名古屋から南東を望むと、三河碧海5市を越えるまでずっと平野が続きます。そして最初に辿り着く里山が幸田町です。私たちは、ここを「愛知県の里山一丁目一番地」と呼ぶことにしました。

- ② [坂崎小学校区] [深溝小学校区]
洞ヶ入池 小原川砂防ダム(小原池)
石塚池(中池・下池) 西深溝池
一ノ小屋池 足後池
[幸田小学校区] 菅師池
大井池 [豊坂小学校区]
光明寺池 堀金池
会下池 琴沢調整池
[中央小学校区] 力ヶ入池
矢尻池 宝谷池4号
[荻谷小学校区] 大入池
稻基池 西谷池
古堤池 六栗新池
不動ヶ池

③ 今森光彦「光の田園物語～環境農家への道～」(クレヴィス刊)
環境農家とは、今森氏が提唱する農地からの収穫よりもその場所の生態系や生物多様性を大事に思う農業のやり方である。

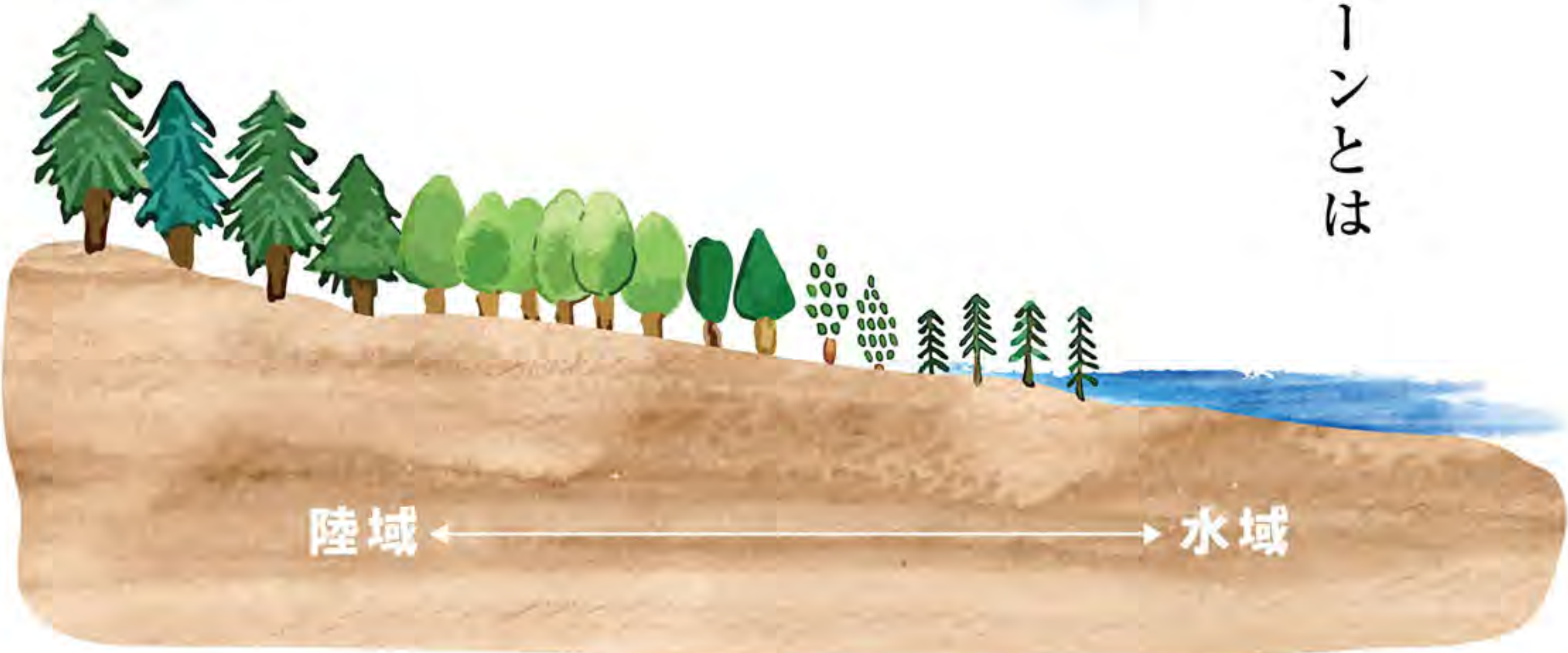
④ 京都光華女子大学「生計就労と生きがい就労」(2023)



国道23号名豊道路から眺める水晶山

不動ヶ池

エコトーンとは



陸域と水域の移行帯 (エコトーン)

森に囲まれた湖沼を見てみると、森の中と水中という二つの異なった生物の生息空間とそれら二つの空間が移りゆく場所を見ることが出来ます。このような陸地と水面の境界、森林と草原の境界のように、どちらとも違った特徴を持った移行帯は「エコトーン」と呼ばれます。

エコトーンでは、土壌の水分、日光の照度、温度、空気動き、湿度などが、比較的限られた空間の中で大きく変化するので、そこに育つ植物や動物の種類も豊かになり、隣接する二つの世界を結んで生物の活発な営みが繰り広げられ、その地域全体の生物多様性を高めるうえで重要な役割を果たしています。

河川に住む生物の生活は、その流域の森林に大きく左右されます。森林はその保水能力によって河川の水量に大きく影響し、また、

生物の餌となる有機物の供給源ともなっています。落ち葉などは分解されて水中の養分となり、水生昆虫や微生物の餌になります。そして、水生昆虫は河川に住む魚類の餌となっています。一方、森の

草木から水面に落下する陸生昆虫も魚類にとって重要な食物資源になっています。

また反対に、河川の魚類がシマフクロウなどの森林動物の生息を支え、森林の生物多様性を高めていることも知られています。

魚種の多様性は、河川の形態にも影響されます。河川では、瀬と淵の形状、流速、水温などが上流から下流に向けて連続的に変化し、ある区間においても、早瀬と平瀬、とろ場など多様な環境が形成されています。魚類はそれぞれに適した環境が異なるので、河川形態が多様であればあるほど多くの種類の魚にすみかを与えることとなります。

参考
「平成8年版環境白書」
環境庁



セミナー
報告1

幼少期に里山体験を

4.18
本光寺

「子どもたちと一緒に
里山遊びを楽しみましょう」



セミナー開催目的
幼少期に自然への興味・関心を広げ、豊かな感性を育むため。

幼少期は人生で最も心が動く時期。この時期に心を揺さぶる自然体験が重要です。自然の知識を得るといふことだけでなく、五感を通じて「わあ、きれいだな」「いいにおいがする」「おもしろい音だな」「こつこつしてるな」「おいしいよ」といった様々な感覚を体験することが必要だと思えます。

幸田町の自然「里山」に触れて、楽しい遊びを体験することで、豊かな感性を育むとともに、いつまでも自然や森に愛着を感じていただきたいです。

幸田町内深溝の本光寺さんにご協力をいただき、町立里保育園の年長・年中さんを対象に里山遊びを体験していただきました。園児ら24人が、園長・保育士さん、本光寺住職・役員の皆さんと裏山の竹林に入り、たけのこ掘りを楽しみました。

本光寺は「三河のあじさい寺」

として知られますが、椿の名所でもあり、秋には紅葉も見事だとのこと、普段から里保育園の園児たちの散歩コースにもなっているそうです。子どもたちは四季を通じて都会では決して味わうことができない自然に触れることができ、大人になってからも忘れない思い出となることでしょう。

収穫したたけのこは、園児たちが一本ずつ持ち帰り、残りはお寺の役員さんがトラックで園にお届けしました。早速、給食室で調理していただき、さぞ美味しかったです。ただけなのではないでしょうか。

お手伝いいただいた本光寺役員の皆さんも「お父さんとお母さんに持って帰るの」などと言う可愛い子どもたちに元気をもらったと嬉しそうでした。特に高齢者にとって、子どもとの触れ合い・交流は「生き生きとした子どもとの関わりが深いライフスタイルは、もしかすると予防福祉になるのではないか」(「遊びが育てる世代間交流…子どもとお年寄りをつなぐ」多田千尋著)と言う人もいます。

有効活用を
探りたい!

幸田天然温泉 くりすの湯

残念ながら2007年4月に閉鎖されたが、今も温泉の湯は出続けているので、これを再度活用したい。



鶴田悟裕本光寺住職
「瑞雲山本光寺は建立以来500年以上にわたり、檀家さん、役員さん、ご近所の皆さんと里山を守ってきた。毎年子どもたちが楽しみにして来る、参拝客・観光客も訪れる、より多くの方々に自然に接して何か感じていただきたいということで森の手入れを頑張っている。
50代で定年だった時代は近所に手伝っていただけでもそれなりにいたが、今は60代でも現役で働いている人が多く、草取りや剪定、掃き掃除をする担い手が減ってしまった。
私一人ではとてもできないが、お手伝いをしてくださる方がいれば、近くにかつてあった幸田天然温泉くりすの湯のお湯を利用して、昔やっていた「たけのこの温泉茹で」の会を復活させて、里山の楽しみを味わっていただきたいところだ」

「豊坂小学校遠足サポーター
ボランティア体験者大募集」



セミナー開催目的
里山体験を通じて豊かな自然の中
でリフレッシュしながら、「新たな
価値の発見」や「多くの気づき」
を得てもらうため。

縦割り遠足とは
● 協力することの大切さを理解し、
お互いに思いやることができる心
を育成できます。
● 上級生の思いやりのある行動や
優しい声掛けを通して、下級生が
他者との接し方を学べる場を作る
ことが狙いです。

現代社会では、核家族化、都市化、
少子化などの様々な社会変化の影
響で、社会性や人間関係形成の面
で課題を抱える子供たちが増えて
います。かつての日本社会では、
近隣の子供同士の交流や、家庭の
中で、遊びを通してそれらを自然に
身に付けていました。しかし、最
近の子ども達は、いつも大人達か
ら手厚く保護され、自分と年齢の
近い年上または年下の子どもとつき
あう機会が大きく減り、子供たち
の集団の中で、年上の子供を見習
う形で、社会性や人間関係を学ぶこ

とができにくくなってきています。

学校には年齢の異なる子供たち
が集まっています。そこで、縦割
り遠足では1年生から6年生の児
童をすべて含んだグループ「縦割
り班」をつくり、各班に分かれて
様々な活動をしていく中で、学年
間の横のつながりだけでなく、異
学年間の縦のつながりを育む活
動です。

（参考資料）
文部科学省国立教育政策研究所「子どもの
社会性が育つ「異年齢の交流活動」―活動実
施の考え方から教師用活動案まで―」

この日豊坂小学校の児童約45
0人が参加する「縦割り遠足」が
開催されました。6年生から1年
生まで各学年が混じる20ほどの班
を作り、学校から徒歩で水島山の
中腹を目指しました。高学年の児
童が班のお世話役となることで、
学年を超えた交流が促進されます。
さらに交通ルールを守ることや集
団行動などを体験的に学べるだけ
でなく、身近な自然に接して、地
域への愛着を育てたいという思いも
あります。

目の開催ですが、その間に六栗西
山森の道整備隊の皆さんの手で遊
歩道や遊具の整備が行われたため、
「昨年と比べて大いに運営がしやす
くなった」と、先生方にも喜ばれ
ました。
一般道を横断する箇所では整備
隊やボランティアの方々には、通
行する車に合図を送るなどして、
安全な通路確保をしていただき、
おかげで怪我や事故もなく無事に
遠足は終了できました。縦割り遠
足が毎年の恒例行事として継続さ
れ、子ども達の体験を大切に思
う彼らが、将来里山の守り手とな
ることを期待しています。

高学年の児童は、改めてこの場
所を訪れ、自然観察や環境教育の
場として利用しています。紫陽花
の挿し木や、森を守るためには人
の手を入れることが必要であるこ
とを理解した児童が整備隊員募集
のチラシを作ったりしてくれまし
た。整備隊の活動に参加したいと
申し出る児童も現れるほどです。

「人間力総合演習に対する一考察」学生は
演習に何を求めているのか（第一報）
・森の整備活動への参加志望動機のマクロ
解析（至学館大学健康科学部健康スポーツ
科学科）より引用

背景
本学において人間力は、「主體的な発想の
もと、心身ともに健全でたくましく、「生き
る力」、「行動力」、「仲間愛」に溢れ、諦めず
何事にも「チャレンジする精神」と定義さ
れており、それは「健康力」、「知的視力」、「社
会力」、「自己形成力」、「当事者力」の5つの
力から成る。「人間力総合演習」は、学生が
各自の生活体験や講義履修により身に着いた
これらの人間力をより強化することを目的と
し、実生活や講義に関連する活動において主
體的な学びを通じて自身の課題克服及び目標
達成をめざすための科目である。

企画概要

活動場所
本企画の活動場所は、愛知県額田郡幸田町
六栗地区の水島山である。水島山は標高20
2.6mの里山であるが、全国の里山と同様、
我々の生活様式が変わった後長年放置されて
きた。放置竹林を含む里山の荒廃は全国的に
問題になっており、各地で整備活動が行われ
ているが、人手不足や作業の継続の困難など
のため、活動が停滞することが多く、有効な
打開策が求められている。このような中、
2021年4月に地元有志の高齢者が「六
栗西山森の道整備隊」を結成し、ウェルビー
イング（well-being）の観点から、健康づ
くりを目的とした里山の整備を行っている。
ウェルビーイングとは、個人の権利や自己実
現が保障され、身体的、精神的、社会的に良
好な状態にあることを意味する概念のことだ
である。「六栗西山森の道整備隊」は地元の幼
稚園には水島山を遊び場として提供したり、
小中学校、高校に対して野外学習の協力を
行ったりと教育にも貢献しており、本学も人
間力総合演習の場として活用している。



「おもちゃ美術館の先進事例に学ぶ」



セミナー開催目的
子どもとお年寄りをつなぐ木の
おもちゃ遊びを通じた世代間交流を
考えるため

おもちゃ美術館は、昨年度の里山ウェルビーイングセミナーで話題に上り、多くの参加者が関心を示したため、当事者である榎原（ひのほら）森のおもちゃ美術館館長の大谷貴志さんをお招きして、実現までのご苦労やそこに込めた想いを伺いました。

榎原村は東京都の西端にあり、人口は約2000人。東京都心から約50km、面積の9割以上が森林であり国立公園でもあるという豊かな自然に恵まれています。都会に住む方々が自然との触れ合いを求めて年間約20万人の観光客が訪れ、そのうち美術館への来場者が年間約4万人だそうです。

大谷氏はもともと東京都職員でしたが、出身地である榎原村の発展に貢献したいと、早期退職して美術館の設立と運営に関わられました。榎原村の木材資源の新たな活用方法を求められていたところ

に、林業従事者から「榎原村を日本一有名な木のおもちゃの村にしよう」をスローガンに、「産業と観光の中心となるおもちゃ美術館を」と提案があり、2018年に「榎原村木育・木材産業推進基本構想（トイビレッジ構想）」に美術館設立が盛り込まれました。それから3年後の2021年に閉校となった小学校跡地に美術館はオープンしました。

建物や内装に全て榎原村産材を使用、村の風景を木で表現したり、木のおもちゃの製造部門を持つのは、全国に12あるおもちゃ美術館の中で唯一です。2022年には木を使って社会課題を解決するという「ウッドデザイン賞」を受賞されています。

トイビレッジ構想の3本の柱とは①木工おもちゃ産業の推進②おもちゃ美術館の設立③人材育成の推進、ですが、3番目の人材育成については、NPO法人を立ち上げ、おもちゃ美術館の学芸員として研修を受けた100人近いボランティアが運営にあたっているそうです。

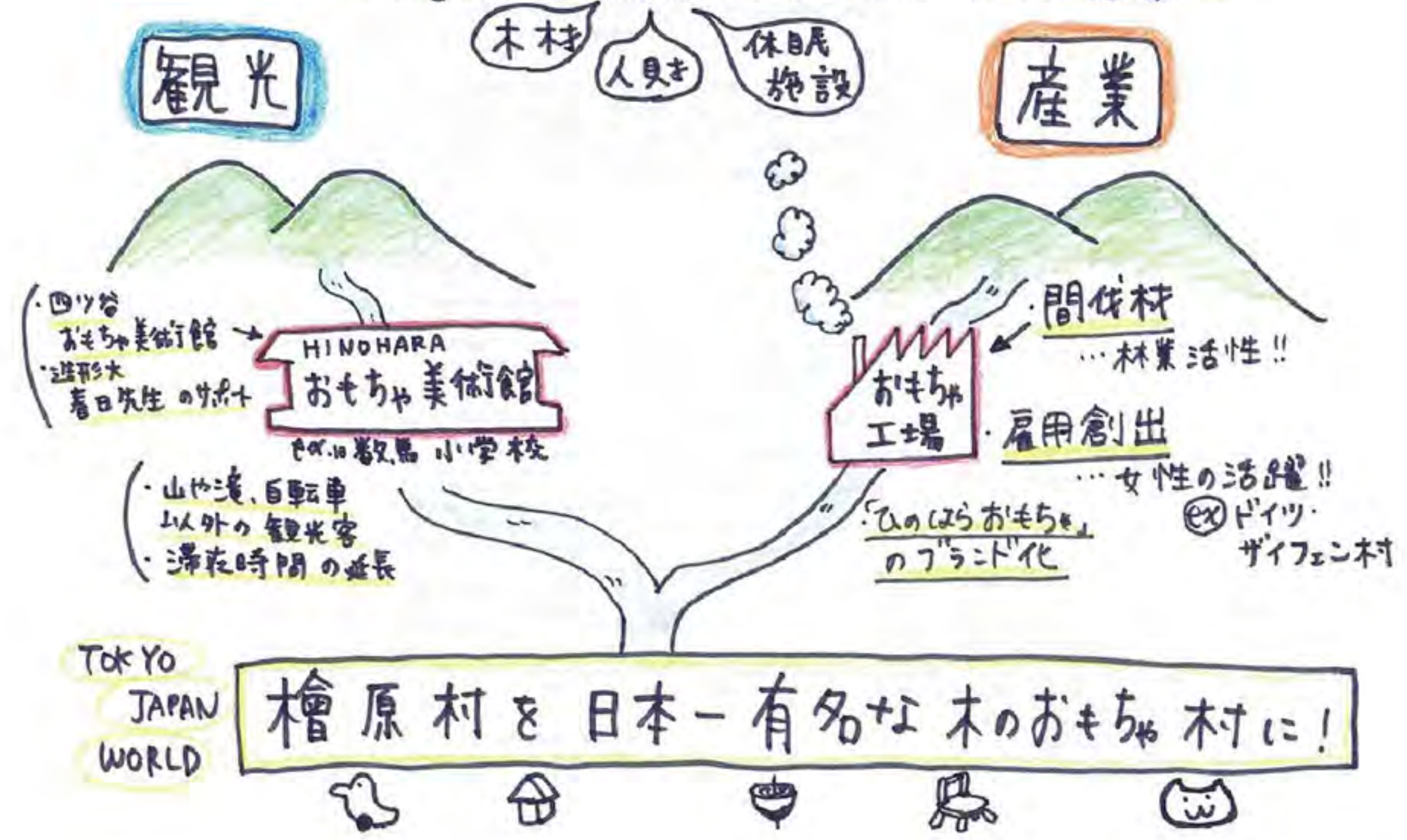
今後の課題としては「館内のおもちゃの100%をメイドイン榎原にしたい。それが真の意味でのおもちゃ美術館の完成形だと思っている」とのことでした。

大谷さんに幸田町の印象を伺うと「想像していたよりたくさん森があつて、とても可能性を感じた。いただいた里山ウェルビーイングの冊子にある「守り、育てる」というのは我々の美術館の考え方と全く同じ。ぜひ美術館設置に向けて頑張っていたきたい」とエールをいただきました。



榎原村のおもちゃ「ヴィレッジ」構想

～地域の財産を活かした新しい産業～



セミナー終了後も質問が相次ぎ、関心の高さが感じられました。

Q…ボランティアの学芸員が大谷さんのところに集まってくる要因は？
A…学芸員さんが自由に色々な挑戦をしてくれている。その環境が魅力かもしれない。

Q…美術館の外にも森を利用した「そとあそびフィールド」があるそうだが、整備はどうしているか？
A…来場者は自然を求めているので、裏山全体を活用している。広場にはクラウドファンディングで調達した遊具を必要に応じて設置している。

Q…ボランティアメンバーは普段どんな職業の方たちなのか？
A…6〜7割は都会から来ていて、他のおもちゃ美術館のボランティアをやっていたという方も。木材加工のメンバーは、木工職人、社会福祉協議会職員、土建屋、料理人など。交通費のみでお願いしている。

Q…リピーターされる要因は？
A…東京には四ッ谷と榎原しかない。四ッ谷は靴を脱いで遊べると

ところが1部屋しかない。駐車場もない。榎原は全て靴を脱いで遊べて、駐車場もあるのでこちらを選んでもらっているのでは。

Q…ウッドスタート事業として、村の新生児にはどんなおもちゃを渡しているのか？
A…ホテルのつみきなど7種類から1つを選んでもらって渡している。価格にして1万円前後。財政と相談してもらえば必要はあると思うが、小さいころから木に触れてもらうことが目的。



コーディネーター
幸田町シニア・シルバー世代
サポートセンター センター長
志賀幸弘



凡例

- 関連施設
- 林道
- - - 林道(予定)

小学校区別撮影スポット

00	坂崎小学校区 p.13-p.16	00	萩谷小学校区 p.25-p.28
00	幸田小学校区 p.17-p.20	00	深溝小学校区 p.29-p.32
00	中央小学校区 p.21-p.24	00	豊坂小学校区 p.33-p.36

幸田町内のエコトーン

坂崎 小学校区

坂崎小学校区は幸田町北部に位置します。北部から東部にかけて、京ヶ峯に代表される身近な里山をもち、その山裾に長嶺、久保田、坂崎の3つの集落と、集落の合間に広がる水田や町特産の筆柿の樹園地などで構成される田園環境豊かな地域であり、古墳や窯跡などの文化財や歴史的人物ゆかりの地でもあります。

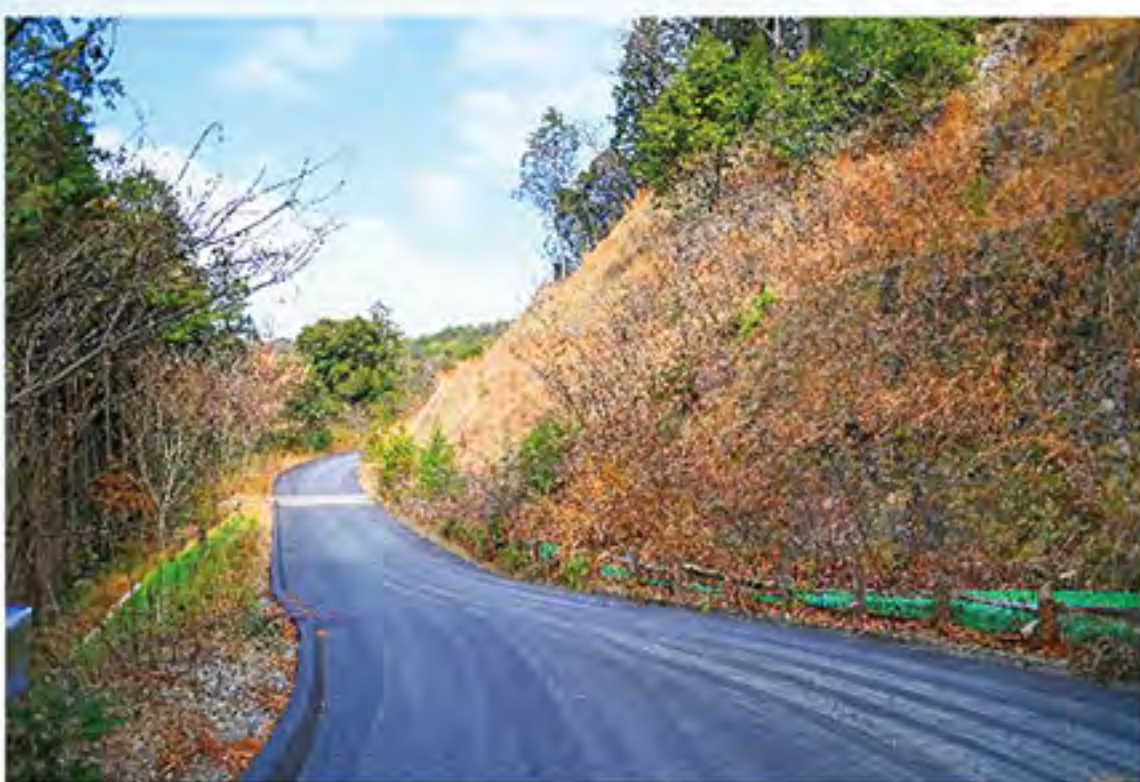
人口	長嶺	273
3,594	久保田	342
令和7年2月1日現在	坂崎	2,979

KOTA SCENE

SPOT | 02

林道 一之小屋線

一之小屋池手前から伸びる林道。整備が進み里山へのアクセスが容易に。湾曲した道は魅力的。



●坂崎区は岡崎市に隣接する平野部と、大手企業の生産拠点や新市街地「幸多の杜」、北東部には自然豊かな森林があります。

●長嶺区には京ヶ峯があり、相見川が流れ、県道美合幸田線が通り、大手企業の生産拠点が立ち並び一方で、幸田特産の筆柿の拠点産地でもあります。

●久保田区は東側に山々があつて景観が美しく、県道美合幸田線が通ります。企業の生産拠点があり、本郷川と前川が相見川に注ぎます。美合方面に抜ける林道京ヶ峯線は舗装されて走りやすいです。

林道一之小屋線は斜面を切り開いて開設されているので明るく、車がすれ違えるほどの幅があり、適度なアップダウンもある、近年全線舗装された林道です。林道管理者しか通らないため、ベビーカーでも安全に散策ができ、四季の移り変わりや景色の変化を楽しむため、どなたにもおすすめできます。

一方、大人向けには林道下田線があり、舗装がされておらず、急な坂があったり行き止まりではありますが、森と直接触れ合うことができます。



田園と暮らし、 里山の良い距離感

相見駅北側の住宅地と農地、柳川の上を走り抜けるJR東海道線。

KOTA SCENE

SPOT | 03

京ヶ峯展望台

ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイトを眼下に市街地を展望。

KOTA SCENE

SPOT | 01

SPOT 06
相見駅北側から
市街地を望む

幸田は常にどの位置からでも
山の稜線を見ることができる。

常に稜線を
見通せる町



SPOT 04
工場と石塚下池

世界的メーカーの工場と里山・里池
の組み合わせが印象的。

大型工場と
里山・里池



農地と相見川

SPOT 08



身近な自然 彦左公園

SPOT 07



御鍛神社前の
神前橋

相見川にかかる朱色の神前橋。田園風景の中に見る朱塗の橋は印象的。思わず自転車を止めて撮影。

SPOT 05

市街地近くの里山 京ヶ峯へ
自転車で相見川にかかる神前橋を渡り、京ヶ峯方面に向かうゆるやかな傾斜を登ります。左手にソニーの幸田サイトを背にした石塚下池を目印に曲がると林道京ヶ峯線に入ります。走りやすい林道をしばらく行くと、三村神社奥宮の標柱を発見。その奥に雲母採掘の穴多しの看板。興味をそそられ、山登りを開始。注意深く進むと赤い目印の近くに縦穴を見つけました。近くの枝につかまりながら雲母採

掘跡を覗き込みます。落ちたら一人では出て来れないと思われる恐怖感。また、想像以上に多い採掘跡に戦慄し、早々に下山。その後、相見駅方面へ。京ヶ峯から少し走ればすぐに市街地。自転車で人力で走るからこそ里山と市街地の近さを体感できます。生活エリアのすぐそばに里山がある…。幸田町民は身近な自然に囲まれながら豊かな日々を暮らしているのだと実感した次第です。



深さ2m以上はあったとわかった...

林浴への いざなぎの

自然と触れ合っていますか

現代は情報過多の時代と言われ、強い不安、悩み、ストレスに悩む人は、働く人の5割を超えています。ストレスは生活習慣病のリスクを高めます。

あなたは最近、空を見上げましたか？
昨春、樹木が芽吹くのを見ましたか？
新緑の樹木が深緑に移り変わったのに気づきましたか？
紅葉を綺麗だと感じましたか？
季節の変わり目を楽しめていますか？
毎日忙しくて、自然に興味がないそんな暮らしをしていませんか？

〈参考〉「森林浴」李 卿 著

2022年10月1日刊行
まむかいブックスギャラリー
株式会社 Actra

幸田町内のエコトーン

幸田小学校区

幸田小学校区は北部から東部に位置します。東部に国定公園に指定されている山々を配し、その山裾には町内最大規模の大井池や光明寺池など多くのため池と、既存の市街地や集落を取り囲むように整然とした農地が広がり、豊かな自然景観を形成しています。

人口 11,999 <small>令和7年2月1日現在</small>	大草	4,750
	高力	1,437
	鷺田	5,658
	新田	154



大井池 弁財天

大井池の湖面に浮かぶ弁財天堂池に映り込む様は水墨画のように美しい。

KOTA SCENE

SPOT 09

KOTA SCENE

SPOT 10

鷺ヶ峯線の展望台

林道鷺ヶ峯線の展望台から市街地が見渡せる。



●大草区の東部には自然溢れる山々があり、県道生平幸田線が通ります。国道248号を挟んで文化施設（ハッピネス・ヒル・幸田）、大規模商業施設や市街地があり、新旧住民が里山を通じた新たなコミュニティを作ることができ、可能性があります。

●高力区には相見川が流れ、水田が広がり豊かな景観を作っています。

●鷺田区には、JR相見駅ができ、相見川が流れる自然があり、公園も整備されていることから人口が

急増しました。

●新田区は、遠くの稜線を眺められる場所で、水田に囲まれていることから美しい里山景観の一部を形成しています。

幸田小学校区の林道は、大草区の間でも徒歩でも一周できる大井池周辺に集中しており、鷺ヶ峯線はさらなる東の町境までの大人向けコースで、多数の巨石が見られ

大井池の南端、猿田彦神社から遠望峰山頂に向かう鷺ヶ峯線は「こなた健康の道」の北側の半分を占めるファミリーコース、鷺ヶ峯線は大井池南端から鷺ヶ峯線に繋がる大人向けコースです。

さらに会下池の東から会下線、光明寺池の東から丸山線が、共に鷺ヶ峯線に繋がる大人向けコースです。

林道富士見線は、鷺ヶ峯線から北東に進む平坦な大人向けの未舗装路ですが、行き止まりとなっています。

富士見支線は、蒲郡市林道深山線につながり、蒲郡のみかん畑から三河湾が眺められるコースです。



農地と ハッピネス・ヒル・幸田

充実した公共サービスとどかな田園地帯。

KOTA SCENE

SPOT 11

光明寺池

最明山のふもとにある池。

身近な水源
人と自然の
いい関係



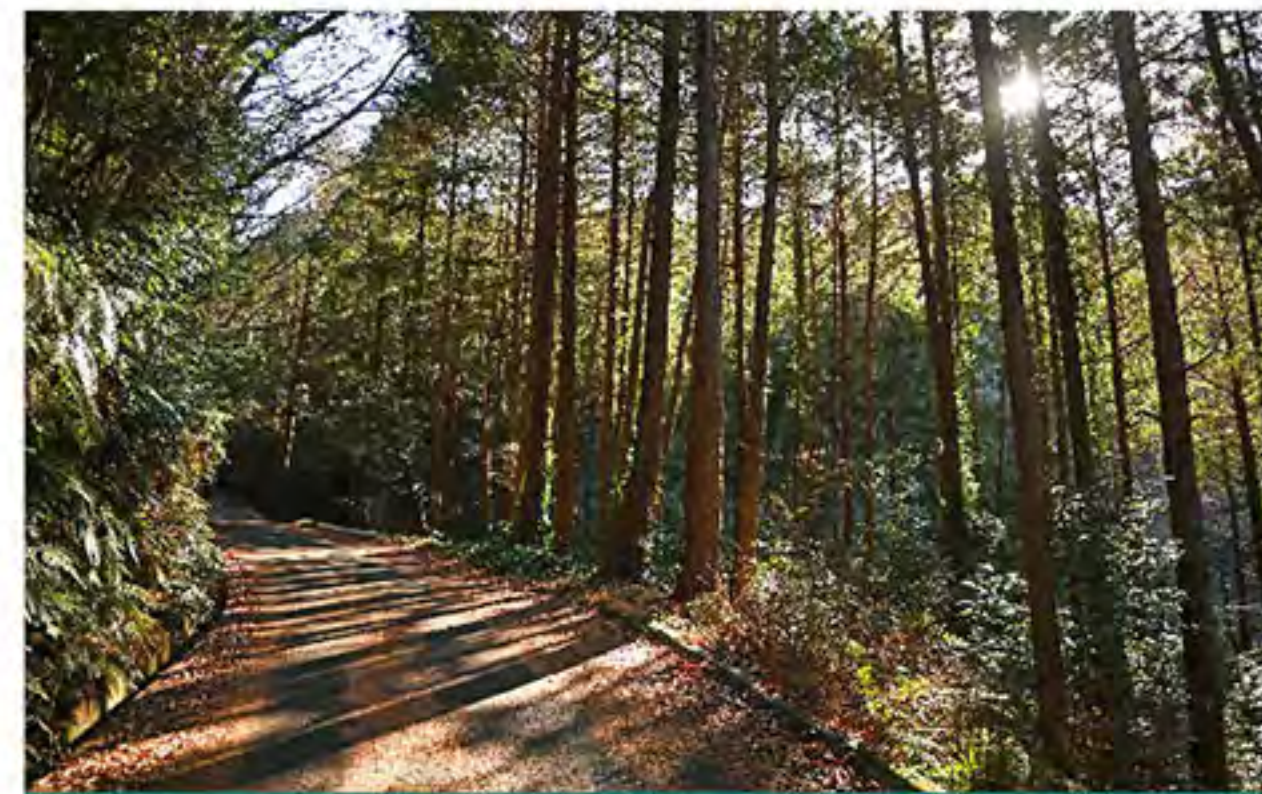
大井池の紅葉

京都を思わせる鮮やかな紅葉
情緒豊かな幸田の秋。

燃えるような
紅葉と
穏やかな湖面



猿田彦神社の吐水する蛙



林道猿ヶ峯線

林道を抜けた先に見る桃源郷
勾配に富んだ林道猿ヶ峯線を猿田彦神社・大井池に向けて自転車を走らせませす。ほどよいアールのカーブを次々とこなし軽快にペダルを漕ぎ進めます。時折開ける景色に開放感を覚えながら、木漏れ日の温もりをいただきます。道ゆく人も車もなく、山を独り占めしている感覚を味わえます。林道を爽快に走り抜けると、猿田彦神社の南側に到着。風流な雅楽の音を耳にし、車轍いをする人を横目に

大井池へ進みます。池まで来ると鳥居が見えてきたのでくぐり抜けると、その先に水面に浮かぶ朱塗の弁財天堂が見えてきます。周囲の光景とあいまって神秘的な様相。里山、池、周囲一帯が御神体ともいう感じででしょうか。弁財天堂の隣に水上ゴルフ場もあり、その並びも摩訶不思議。この大井池から南のとほね運動場までの道が「こなた健康の道」として整備されています。



大井池弁財天
遷拝所

池の向かいの弁財天堂に向かって参拝できる

林浴への
いざない②

森林は人をポジティブにする

アリストテレスの時代から多くの詩人や哲学者、科学者たちは、好んで森林の散歩をしていたといわれています。彼らが自然の中で一人の時間を過ごし、思索を重ね、歴史に残る発見をしてきたのも、自然は人の創造性を高め、思考をポジティブな方向に変える力があるからです。

「森林浴」といっても、急がず自然を味わうことです。『何もしない』ことが一番森林浴に相応しいアクティビティかもしれません。多忙な現代人にとっては、何もしないことこそ最高の贅沢ですから。

「たとえ都市部で生活するにしても、できるだけ自然の森林に近い環境に住む方が、ストレスの少ない生活を送れる」というレポートもあります。自宅やオフィスの近くに樹木が茂る公園や緑地がありますか？
そこには大きな樹木がありますか？
そこには花が咲き、四季を楽しめそうですか？
そこは10〜20分の散策を楽しめるだけの広さがありますか？
そこをあなたは気に入っていますか？

こうた凧揚げまつり
(菱池地内)



● 岩堀区は古くからの集落および、幸田駅西地区、銘鍛冶地区の新しい街地からなります。
熊野神社の鎮守の杜、矢尻池の自然があり、美しく整備された幸田中央公園があります。

● 横落区は国道248号の西側、桜並木で有名な尾浜川の南側に位置する住宅密集地です。

KOTA SCENE

SPOT 19

aibo®の聖地
幸田町

町役場周辺を散策中にこの子と目が合う。幸田町は国内唯一の aibo 製造・修理拠点がある。



aibo はソニー株式会社の登録商標です



赤くりペイントされた
ランニングコース

天気の良い日はほのぼのの散歩・ランニング、思い思いの過ごし方でリフレッシュ！

KOTA SCENE

SPOT 18

中央小学校区

幸田町内のエコトーン

中央小学校区は幸田町中央部から北部に位置します。中央小学校区には林道こそありませんが、各市街地に緑豊かな公園が多く整備されています。

人口	8,677
	令和7年2月1日現在
岩堀	5,884
横落	2,793

すぐ会える自然



幸田中央公園 時計



幸田中央公園

幸田町役場東側にあり良好なアクセス。ベンチで休む人、ランニングする人、サッカーを楽しむ少年たち…。町民の憩いの場。

KOTA SCENE

SPOT 17

幸田中央公園



愛想のいい猫ちゃん

なんだと理解。山の神の方へ足を進めると墓石のような山ノ神の石碑が見えてきました。山と杜、自然に対して畏怖と神性を感じる日本の感性に触れたようです。生活エリアからすぐ近くでこれほどの豊かな自然に触れられるのは実に贅沢。人間の本能で感じとれる豊かさ、生命的な喜びをこの杜が与えてくれるようです。



矢尻池

SPOT | 23



広田川沿いから拝む夕日

SPOT | 22

都市部での生活者が増えるにつれ、ビタミンD不足、近視、肥満、行動障害の子どもが増えています。これを「自然体験不足（あるいは自然欠乏障害）」と呼ぶ人もいます。子どもは大人より直感に優れ、思考が柔軟で、行動が素早く、反応はストレートです。初めての自然体験でも、大人が驚くほど多くを学び、自らたくましく成長します。1950年代にデンマークから始まった「森の幼稚園」では、自然の中でより良い教育を目指すという理念に基づき、就学前の子どもたちを森林の中で遊ばせ、学ばせています。子どもたちの創造性、自主性、心の回復力を養うのに効果を上げています。この卒園生と普通の幼稚園の卒園生を対象に行った調査では、「認識力」「社会性」「モチベーション」「身体能力」のほとんどの分野でも、森の幼稚園出身の子どもが高い評価結果を出したそうです。

森林体験不足

林浴への
いざない③

KOTA SCENE

SPOT | 20

熊野神社
鎮守の杜

熊野神社を取り囲む明るく静かな杜。住宅地のすぐ隣とは思わせない静寂さと、空気の清浄さに心奪われる。

町の中に鎮守の杜
護られているのは
人と自然の繋がり



住宅地のすぐそばに癒しの杜が

大型ショッピングセンターのピアゴ幸田店から西進すると、アニメ映画「となりのトトロ」に出てきそうなこんもりと盛り上がった森が見えてきます。ここは熊野神社の鎮守の杜。住宅地に囲まれているものの一歩鳥居をくぐれば神域の様相。拝殿まで行くと猫たちが手厚くお出迎え。ニャアニャアと寄ってきてはスリスリと身体を密着させてきます。まるで神様にお仕える者に懐かれたような気分です。



熊野神社

いざなみのみこと
伊弉冉命が主祭神の村社。拝殿前の松が実に見事。

KOTA SCENE

SPOT | 21

拝殿の隣にある伏見稲荷大明神にも挨拶し、鎮守の杜に入らせていただきます。柔らかな土を感じながら、太陽光がほどよく差し込む明るい杜に入ると、空気が澄んでいるように感じ清浄な気持ちに。先ほど仲良くなった猫も後ろからついてきて、一定距離を置いてこちらを観察しているよう。やはり神様の使いなのかもしれません。丘のような、里山のようなゆるやかな傾斜を登ると山の神 山道の案内板がありました。ここは山

幸田町内のエコトーン

荻谷小学校区

荻谷小学校区は幸田町中央部から東部に位置します。本地域は、民間開発による大規模な住宅地整備が行われ、新たな行政区が誕生するなど、都市化が進行した地域の一つです。

人口 5,862 <small>令和7年2月1日現在</small>	荻	849
	芦谷	3,700
	幸田	606
	桜坂	707



不動ヶ池 親水デッキ 不動ヶ池公園のウッドデッキで静かな時間を過ごすことができる。リフレッシュに最適。

KOTA SCENE SPOT | 24

●荻区は東に遠望峰山があり、ふもとは美しい水田といちご農園が広がっています。中央に国道248号が走り、東には県道芦谷蒲郡線を経由して三河湾につながります。

●芦谷区は名豊道路、248号、東海道新幹線、東海道本線が通り、幸田しだれ桜祭りでも有名な幸田文化公園、大手企業の製造拠点があります。

●幸田区は幸田駅東側の中心市街地で商業施設が多数あります。

●桜坂区は元大企業跡地を民間デベロッパーにて開発された閑静な住宅地です。

荻谷小学校区の林道は、荻区に集中しており、一周できる不動ヶ池から貴嶺宮、不動ヶ池園地を通り、遠望峰山頂を目指す林道遠望峰線は「こうした健康の道」の南側の半分を占める舗装されたファミリーコースです。

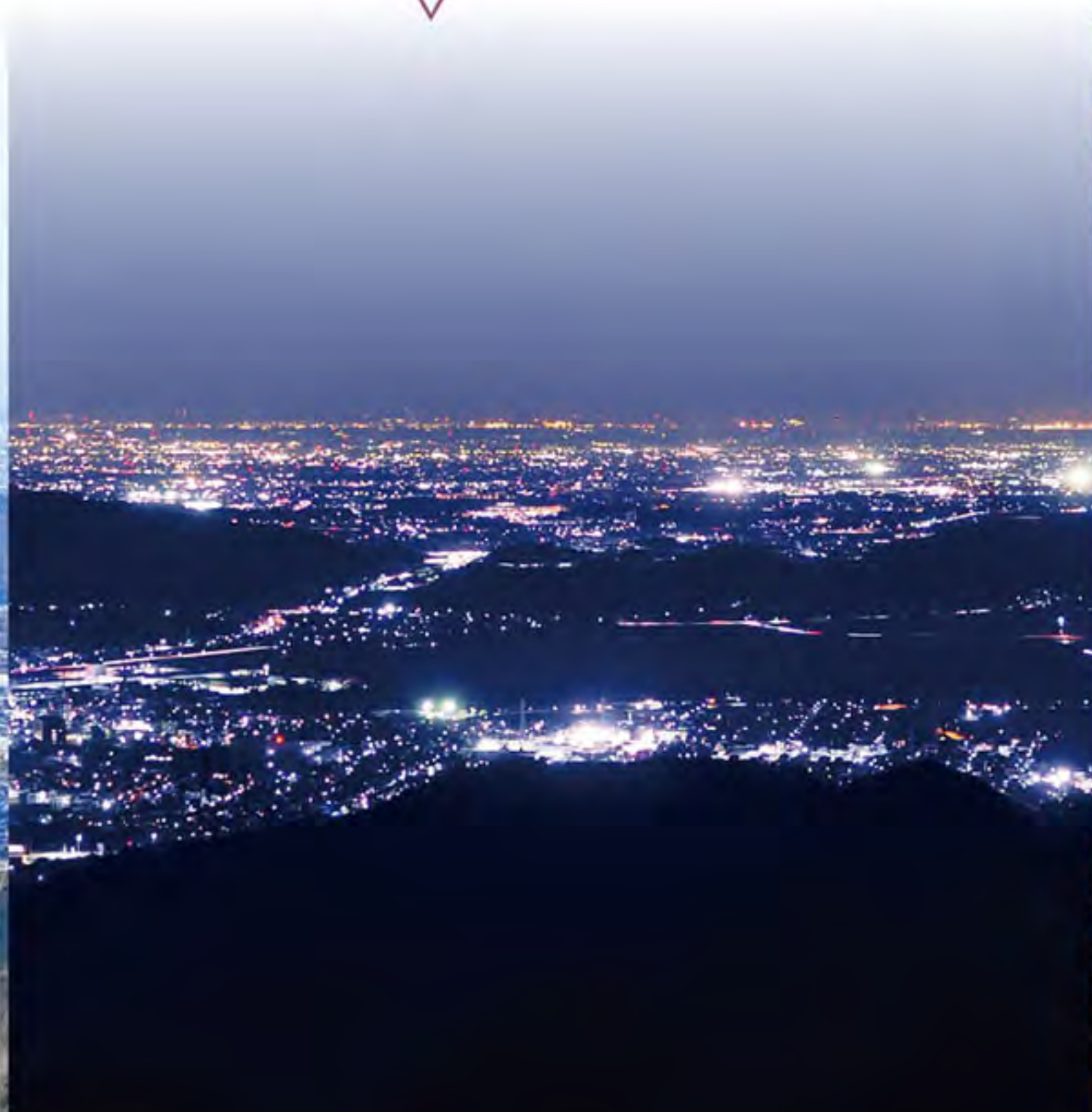
林道伐岩線は貴嶺宮の西側から林道鷲ヶ峯線につながる舗装されていない沢沿いの大人向けコースです。

林道研山線は不動ヶ池南側から林道遠望峰線につながる舗装された平坦なファミリーコースです。

遠望峰山ふもとの稲基池の東側、古堤池の東側には里山らしい景観が広がっており、名豊道路の側道を歩いて散策ができます。

KOTA SCENE SPOT | 27

遠望峰山からの見晴らし 遠望峰山 三河湾スカイラインより市街地を眺める。山に挟まれた幸田町とこの向こうに広がる岡崎市の平野部を見渡せる。



KOTA SCENE SPOT | 25

荻城跡 徳川家康に仕えた内藤清長の居城跡。



KOTA SCENE SPOT | 26

不動ヶ池と遠望峰山 背景に遠望峰山を望む不動ヶ池のコントラストは絵画のような美しさ。



名豊道路と
デンソー幸田製作所

デンソー幸田製作所と名豊道
路、水晶山を見渡せる。

産業と交通
里山保護の両立



不動ヶ滝

森林浴とマイナスイオン効果でリフレッシュ。日頃たまったストレスも跡形もなく消し去ってくれる。

自然の癒しに
ご利益を
感じて



林道富士見線



山蔭神道 貴嶺宮

お不動さんに会う
不動ヶ池を過ぎると、古神道の山蔭神道 貴嶺宮があります。通常の石造の鳥居とは異なり木柱をしめ縄で繋いだ簡素な造り。古を感じる古神道の趣を感じます。本殿脇には花山稲荷神社があり第65代天皇である花山天皇が祀られています。貴嶺宮からせせらぎ水路、小川沿いの遊歩道を進みます。しばらく木々の葉が揺れる音と心地よい水のせせらぎに耳をかたむけ心の邪気を一掃。心が浄化された頃、

不動ヶ滝園地に到着します。ここはお不動さんが鎮座する聖域のような雰囲気ですが、明るい森の中でパーベキューやキャンプができる憩いの場でもあります。園地を登っていくと不動ヶ滝に到着。訪問時は水量も豊富でマイナスイオンを感じる清々しさを享受。木々の放つフイトンチッドによる癒し効果もあり心が落ち着きます。そのような心境で不動堂に向かっ合掌。すでにご利益を享受しているようです。



せせらぎ水路

不動ヶ滝に向かう小川沿いの遊歩道。

林浴への いざなひ④

森林は人を健康にする

最近の研究で、森林の中を歩くことで副交感神経が優位になる、ストレスホルモンが減少する、血圧や心拍数が安定する、ナチュラルキラー細胞が活性化することがわかっています。

樹木の香りや、木漏れ日、鳥のさえずり、新鮮な空気が私たちの心身をリラックスさせ、不安を和らげ、ありのままを感じる手助けをしてくれます。

森林浴では、目、耳、鼻、口、手足などあらゆる感覚を使って、時間をかけてゆっくりと音や香り、景色、感触を味わいます。多くの人は「自然の中にいると、気持ちがいい」と言います。心が落ち着き、安らぎを感じられるようになるからでしょう。

緑や樹木が多いほど幸福感が増すという調査結果もあります。自然とつながる感覚は「第六感」とも言われ、つながる力の強い人ほど、幸福感が増すようです。それこそウェルビーイングそのものと言えます。

幸田町内のエコトーン

深溝小学校区

深溝小学校区は幸田町南部に位置します。東部・南部は緑濃い山林が広がり、美しい山の稜線を見せています。特に南部山林一帯は、三河湾国定公園に指定され、豊かな自然環境が保全されています。

また、あじさい寺で有名な本光寺があり、三ヶ根駅は形原温泉、西浦温泉あるいは三ヶ根山といった近隣観光地の玄関口でもあることから、これらの観光資源と美しい自然環境の活用が必要です。

人口 6,287 <small>令和7年2月1日現在</small>	里	2,787
	市場	2,623
	海谷	693
	逆川	184

●里区は三ヶ根駅東側に位置し、さらに東側の山々に囲まれています。都市公園である幸田町深溝運動公園、里公園や、足後池の東側には山肌を削って作られた広大な畑があります。国道248号沿いには2ヶ所の新市街地があります。

●市場区には稲葉山、妙見山があり、西深溝池から広田川に流れる舟山川と、三河湾に流れる拾石川に挟まれた2つの新市街地が、三ヶ根駅の西側にあります。

●海谷区は幸田町の南端で蒲郡市に隣接しています。県道衣浦蒲郡線と国道23号の立体交差があり、東側に日向山、西側には山を切り拓いた畑が広がっています。

●逆川区は四方を山に囲まれた地形で、西側が西尾市に隣接しています。県道衣浦蒲郡線が中央に走り、拾石川が流れています。

林道三ヶ根線は県道衣浦蒲郡線から小原川に沿って三ヶ根山頂に向かうコースで、途中の美しい水田が広がる舗装路はファミリーで楽しめますが、三ヶ根山スカイラインにつながる舗装されていない道は大人向けになります。

林道官前線は誉師池から北東へ

KOTA SCENE

SPOT 34

島原藩主 深溝松平家墓所

深溝松平家の御廟所。廟内に入れば空気が異なりまさに聖域。歴史を感じさせる重厚感がある。



KOTA SCENE

SPOT 35

本光寺本堂

九州島原城主の宿泊所を本堂としたもの。間口が広いのが特徴。



本光寺あじさい

本光寺境内に咲く情緒あるあじさい。

KOTA SCENE

SPOT 33



小原川砂防ダム

三ヶ根山登山口付近にある池。

静けさと
清らかさ



メタセコイア並木

県道41号線から西尾と幸田を結ぶ産業道路沿いにメタセコイアが並ぶ様は圧巻。

風とともに
走り抜ける



林道三ヶ根線



深溝断層

並木路をオーブンドライブ
県道41号線を蒲郡から西尾方面へオープンカーに乗ってドライブ。深溝刈谷門の交差点を過ぎると、気持ちいいほどに真っ直ぐなメタセコイア並木道にさしかかります。開放的な景色と産業道路として整備された広い幅員の道路がドライブングプレジャーを盛り立てます。しばらく進むと少し登り坂にさしかかり、頂上まで登りきるとゆるやかな下りとなります。この景色が最高で、湾曲した産業道路と

並木が芸術的なほど美しく、遠くまで見通せます。まるで北海道、ヨーロッパのような開放的な景色に胸が高鳴るのです。オープンカー故にほどよい風と過ぎ去る景色が実に心地よい。
琵琶湖のメタセコイア並木は全国的に有名ですが、この並木道もまた大変魅力的。わざわざ来る価値があります。



拾石川と並木

メタセコイア並木道に並行する拾石川。

林浴への
いざない⑤

森林は素晴らしい天然資源

森林は素晴らしい天然資源であり、人や動植物が生きるために必要なものを与えてくれます。日光を受け止め、根から吸い上げた水分を、木の葉から空気中に戻します。さらに生成した酸素を大気中に放出し、土壌が地下水を浄化します。

太古の昔から、森林は独特の香りや空気の清浄さ、色彩・景観などによって、人の心も和らげてきました。日本人は自分たちを自然の一部とみなし、自然を畏れ敬い、共生してきました。

これは欧米にはない自然観で、『森林浴』という言葉が1980年代に入浴習慣のある日本から生まれたのもうなずけます。それが自然の中で手軽にできる健康増進法として世界に広まりました。

地域に守られた里山

KOTA SCENE

SPOT 41

六栗新池

江戸時代に人の手によって作られた六栗新池。森の中にひっそりと佇む様子は実に神秘的。

KOTA SCENE

SPOT 42

宝谷池から市街地を見渡す

宝谷池より東を展望すると耕作地、市街地まで遠く見通せる。



● 上六栗区は国道23号、県道幸田石井線が走り、北南東を山に囲まれ、広田川が流れています。昔ながらの水田風景が広がっています。

● 桐山区は名豊道路および幸田桐山インター、国道23号、県道幸田幡豆線が走り、計画中的の浜道路への分岐予定地があります。西は西尾市に隣接していま

す。北、南、西を山に囲まれ、広田川の最上流地点です。

林道須美南山1号線は道の駅「筆柿の里・幸田」から南に伸びたのち、北に向かう、舗装されていない行き止まりの大人向けのコースです。

林道須美南山2号線は、国道23号から黒山川に沿って南に伸びる舗装されていない行き止まりの大人向けのコースです。

林道水晶山線は宝谷池から西山頂までの舗装はされていませんがファミリー向けの道です。

林道力ヶ入線は力ヶ入池から六栗西山へつながる舗装されていない大人向けコースです。

林道六栗西山線は県道須六線から、大入池・西谷池・六栗新池の上流を通る計画道です。

● 野場区は、県道は須美福岡線、野場横落線、幸田石井線が走り、広田川と赤川は矢作川に流れ込みます。東海道新幹線も通っており、大手企業の製造拠点と2ヶ所の新市街地があります。

● 永野区は南に永野山、西に羽角山、北は岡崎市に隣接し、県道須美福岡線が通っています。春には桜が咲く都市公園の永野公園があります。

● 須美区は北に須美北山、須美前山、東に須美南山と四方を山に囲

まれ、西は西尾市に隣接しています。黒山川と南浦川、楠川が中央の須美川に流れこみ、矢作川につながります。名豊道路須美インターは県道須美福岡線と繋がっており、名豊道路沿いには、道の駅「筆柿の里・幸田」や、大規模工業団地が3ヶ所あります。

● 六栗区は幸田駅西側で県道幸田石井線が通り、東海道新幹線が走ります。大規模工業団地、大規模商業施設と新市街地があります。広田川には西谷川と沙川が流れ込



西山に入る林道

六栗西山へと入る林道。色とりどりの木々に誘われる。

KOTA SCENE

SPOT 43

豊坂小学校区

幸田野内の五五トーン

豊坂小学校区は幸田町西部に位置します。豊坂地域は、南西部に広がる山間の地域で、6つの集落により構成されています。

令和7年3月に全線開通の名豊道路の幸田須美インターチェンジ、幸田桐山インターチェンジが開設されており、道の駅「筆柿の里・幸田」が整備されています。

野場	1,937
永野	285
須美	354
六栗	2,076
上六栗	635
桐山	354
人口	5,641
令和7年2月1日現在	



琴沢調整池

広域農道沿いの琴沢調整池。山々に囲まれ静けさに満ちている。

おだやかな水面に
やさしい風



水晶山を背にした幸田駅

奥の水晶山が幸田の里山と市街地の距離感の近さを感じさせる。

暮らしの中に
溶け込む里山



六栗郷の池



西谷池

そこから青い海が見えた！

幸田駅の背に見える水晶山。整った交通網と里山保全、人と自然の良い関係を感じられます。駅から西に向かい山の手もとへ。ふもとからUの字にカーブした車道を進むと「六栗西山森の道整備隊活動拠点エリア」に到着。開けた斜面から整備が整った登山道を進みます。案内看板が丁寧に、博物館のような情報量に感嘆。まさに里山博物館。上の方まで行くと、三河湾が見えるよという看板が目に入ります。遠望峰山以外で幸田から三河湾が見えるのか？と半信半疑で視線を向けるとそこには三河湾が！三河湾に浮かぶ三河大島、そしてその奥に見える渥美半島、手前を見れば、幸田の市街地、国道248号線、新幹線の高架が見えてきます。この優れた眺望は水晶山に伝わる「大岩伝説」の天狗が山を荒らす輩を見張るにはちようにいい視界だと感じました。また、この水晶山は標高も202.6mと低く気軽に登山をするにはちようにいい山なのです。



水晶山からの見晴らし

幸田、蒲郡、豊橋、田原まで一望できる。水晶山は山好きの間では幸田のピラミッドと呼ばれている。

林浴への
いざない⑥

自然の中へ

森林は、私たちが健康で、より幸せに暮らすことを助けてくれます。そのためには森林も健康でなければなりません。

自分の心身を大切にするのと同じように、森林も人の手で守ることが大切です。里山に暮らす我々は、森林に行き、その力を借りつつ、地域に暮らす全ての動物のことを考えることで、自身の幸福感を得られるような生き方を指したいものです。

まずは出かけてみませんが、私たちが暮らす町にある自然のふところへ。すぐに手の届くところにある森林の恵み、存分に感じてください。

里山・里池
エコトーン
の
将来像

Die Zukunft
von Ecotone



ドイツの黒い森
シュヴァルツヴァルトを
イメージして

Bundesrepublik Deutschland
ドイツ連邦共和国



Baden-Württemberg
バーデン=ヴュルテンベルク州



シュヴァルツヴァルトのフライブルク市は、1992年(平成4年)からドイツの環境首都として知られるようになりました。
シュヴァルツヴァルトは、人口千人から二千人程度のたくさんの農村と広い谷間、盆地、台地には製造業や商業で栄える人口1万人から5万人の規模の町が点在し、人口規模約200万人の地域となります。
幸田町は5万人都市を目指し、令和6年度「SDGs未来都市」に選定されており、里山里池エコトーンの良き先進地としてシュヴァルツヴァルトをイメージしました。

シュヴァルツヴァルトを参考にし、三つのキーワード(住む、育む、交わる)にて目指す将来像としました。
シュヴァルツヴァルトは「黒い森」の名の通り、「暗黒の怖い場所」でしたが、人の手が加わることで、「生きた里山」に生まれ変わり、その魅力が観光業にもつながっています。また、森の景観を守るのは住民であり、それぞれが農林業、伝統的な職人、サービス業など本業を持つ方々です。

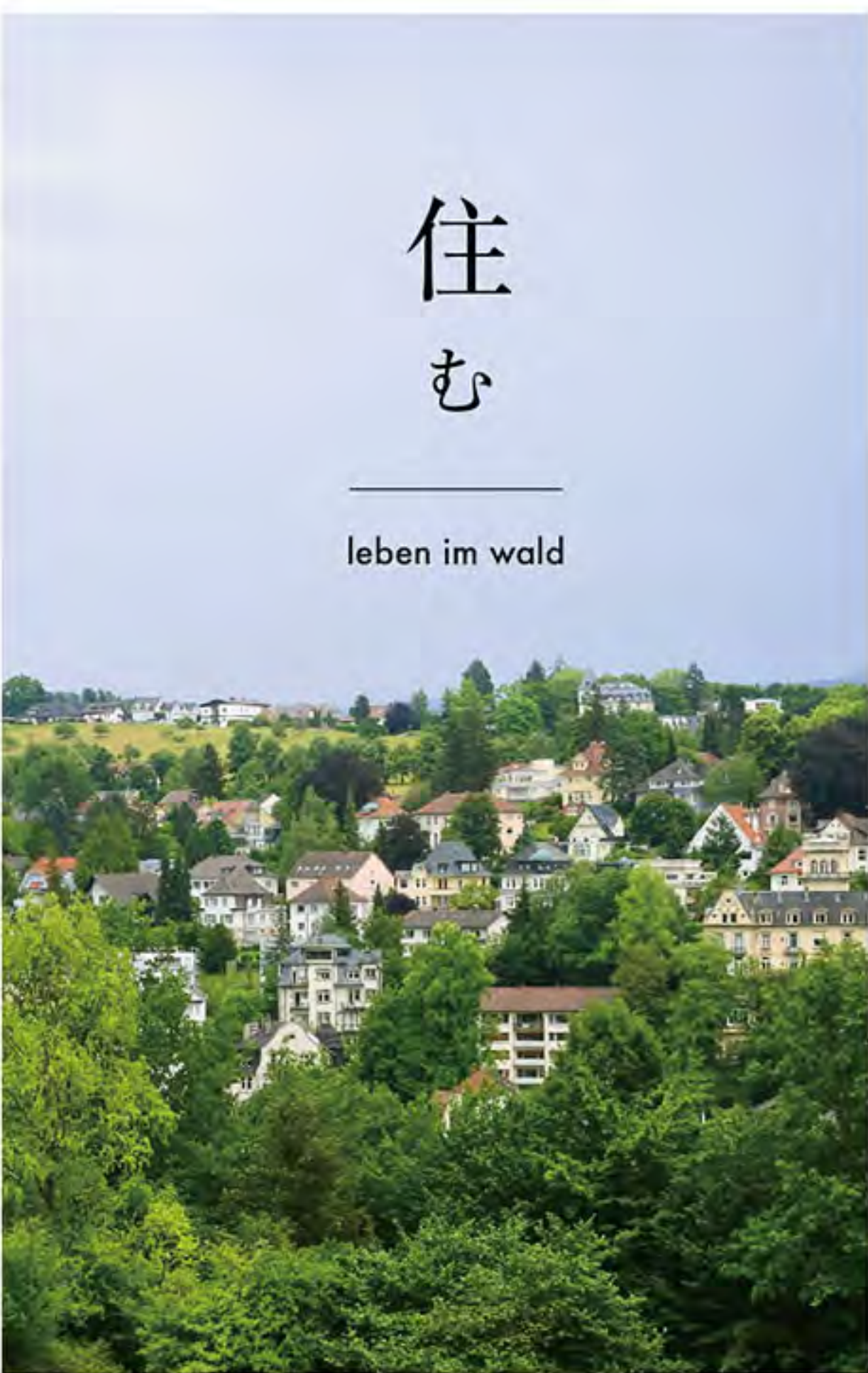
キーワードで観る

将来像



住む

leben im wald



シュヴァルツヴァルトはドイツ南西部のバーデン地方に属し、北はバーデン・バーデン、東はシュトゥットガルト、南はフライブルク、西はライン川の流れを挟んでフランス中東部のアルザス地方（アルザス・ロレーヌ）との国境にあります。元々ブナとモミを主体とする深く鬱蒼とした原生の森でしたが、19世紀以降の計画的な針葉樹の植林などで再生し、当時の「怖さ」「不気味さ」は全くありません。人々が自然を活かした生活によって作ってきた「文化景観(Kulturandschaft)」それが日本で言う「里山」です。

古代ローマ人さえも恐怖を感じた「暗黒の森」が人間の生活の営みによって「明るいまるい里山」に変わったのです。

ドイツの環境首都（フライブルク市）として世界的に有名ですが、生活感があり、IT、精密機械産業、手工業など経済活動も盛んな地域で、観光だけに依存しているわけではありません。道路や鉄道、学校や病院などのインフラも隔々まで整備されていて、暮らしやすく便利で、快適な農村地域です。これが我々の目指したいところです。

育む

pflegen im wald



シュヴァルツヴァルトをはじめドイツには「森の幼稚園」というものが2千園以上あります。毎朝、子どもたちと森に入ってから、その日のやることを決めるといいうような教育がされています。この卒園生と普通の幼稚園の卒園生を対象に行った調査では、「認識力」「社会性」「モチベーション」「身体能力」のほどの分野でも、森の幼稚園出身の子どもが高い評価結果を出したといえます。野生的な環境では、他の仲間への配慮・助け合いの心が育ちます。五感をフルに使い、好奇心と自分の意思に基

づいた自発的な仲間との遊びなどで培われた結果と言えるでしょう。パーティや映画祭、収穫祭、カーニバルなど、イベントや行事の運営に親も積極的に関わっていることも大きいようです。子どもたちは成長後も、森に入るとエネルギーをもらって元気になってはしゃぎだすと言います。地域ぐるみで子どもを育てる環境が整っているのでしょうか。

交わる

im wald interagieren



シュヴァルツヴァルトでは7割の農家が観光業などを兼業しており、民泊事業などを通じて人とつながる機会が少ない農家の人たちが都市部や隣接する国の人々とながらる手段になっています。

都市部の人たちも、徒歩ですぐ入れる里山で、四季を通じてハイキングや自転車、スキーを楽しんだり、農家が営む地域の素材を活かした郷土料理を提供する昔の農家を改装した山小屋レストランや、結婚記念日、誕生日など特別な日にはおしゃれをして、各町村に一つはあるミシュランの星がつくよ

うなハイレベルのグルメレストランで贅沢をしたりしているようです。

森林業、時計づくり、木工、ガラス工芸といった伝統産業をテーマにした小さな博物館が各地にあり、地域の休憩場所になったり、景観を守るコミュニティ活動の拠点になったりしています。

美しい景観を守る「景観管理人」の主役は酪農畜産業と森林業の農家です。彼らが守る景観を見て、味わって、体験して、感激して、褒めてくれる訪問客がいるから、景観管理人というプライドが生まれるのだと思います。



今森 光彦氏

1954年滋賀県生まれ。写真家、切り絵作家。大学卒業後独学で写真技術を学び1980年よりフリーランスとなる。以後、琵琶湖をとりまくすべての自然と人との関わりをテーマに撮影する。一方、熱帯雨林から砂漠まで、広く世界の辺境地の訪問を重ね、取材をつづけている。近年は、環境農家、ガーデナー、里山環境プロデューサーとしても活動している。



今森光彦
「光の田園物語 - 環境農家への道 -」
(クレヴィス刊)

オーレリアンの庭

そして日本においては滋賀県琵琶湖の西岸、比叡山の裾野にある仰木地区で環境農家今森光彦氏が「オーレリアン (Aurelian) の庭」にて、シュヴァルツヴァルトのような取り組みを長年されています。

「黄金」を意味し、金色の蛹にたとえられ、広い意味でチョウを愛する人たちのことを言います。アウレア (Aurea) はラテン語で「光り輝く黄金」を意味します。

幸田町生涯現役推進協議会では、「アウレア (Aurea) 倶楽部」というLINE公式アカウントにて、シニア、シルバー、ゴールド世代に向けて情報発信をしています。

オーレリアンの庭は、今森光彦氏により、棚田が見渡せ、近江八景に数えられる比良山も眺められる場所である仰木地区に作られたアトリエです。

今森氏は、プロ写真家であり、熱帯雨林や砂漠などを撮影のために出かけていたが、「やはり田んぼを見るとほっとする」との思いか

ら、歳を経るごとに田園の棚田の一角に仕事場を持ちたいという思いが募ったといわれています。

今森氏は長年里山を撮影、数多くのエコトーンに出会ったそうです。しかしながらエコトーンは何の変哲もない景観なので、価値を認められず、開発のたびに姿を消してきました。そこで「二つでいいから自分の手で作ってみたい」との思いから、アトリエの庭をエコトーンにしました。

土地を入手し、生えていたヒノキ300本を伐採、雑木林を目指してクヌギやコナラを植林、休耕田はそのまま生かす、井戸を掘って水を得る、水辺の再現など、エコトーンを手本に苦勞して作った今森氏の庭では、膨らんだ光が木々の梢からゆらゆらと降り注ぎ、土の匂いに誘われて畑に出ると、花があちこちに咲いていて、地面から顔を出す小さな生命たちは、透明で清楚ながら力強さがあるそうです。

里山につながる野辺には農道がいくつもあり、脇道を逸れて散策すると、土手の草花と一緒に鳥や昆虫など、数々の生き物に出会えます。本当に何でも無い一角なの

で、年月が経つにつれて、ひとつ、またひとつと、目の前から姿を消しています。風景は永遠だと思われていたけれども、里山は小さな生命が奏でる連携プレーのバランスの上に成り立っています。生き物と同じようにデリケートで放っておくと無くなっていくのです。「庭は、私にとって里山の自然を見つめる窓であり、教科書であり、実験場でもあります」(今森氏)

アトリエとその周辺環境

南向きに棚田を見下ろす場所にアトリエがあり、背面にはため池と雑木林があります。雑木林は、そのほとんどが在来種で、下草刈り、枝打ち、伐採などの管理を行われています。ため池には主に在来種の水草が植えてあるそうです。

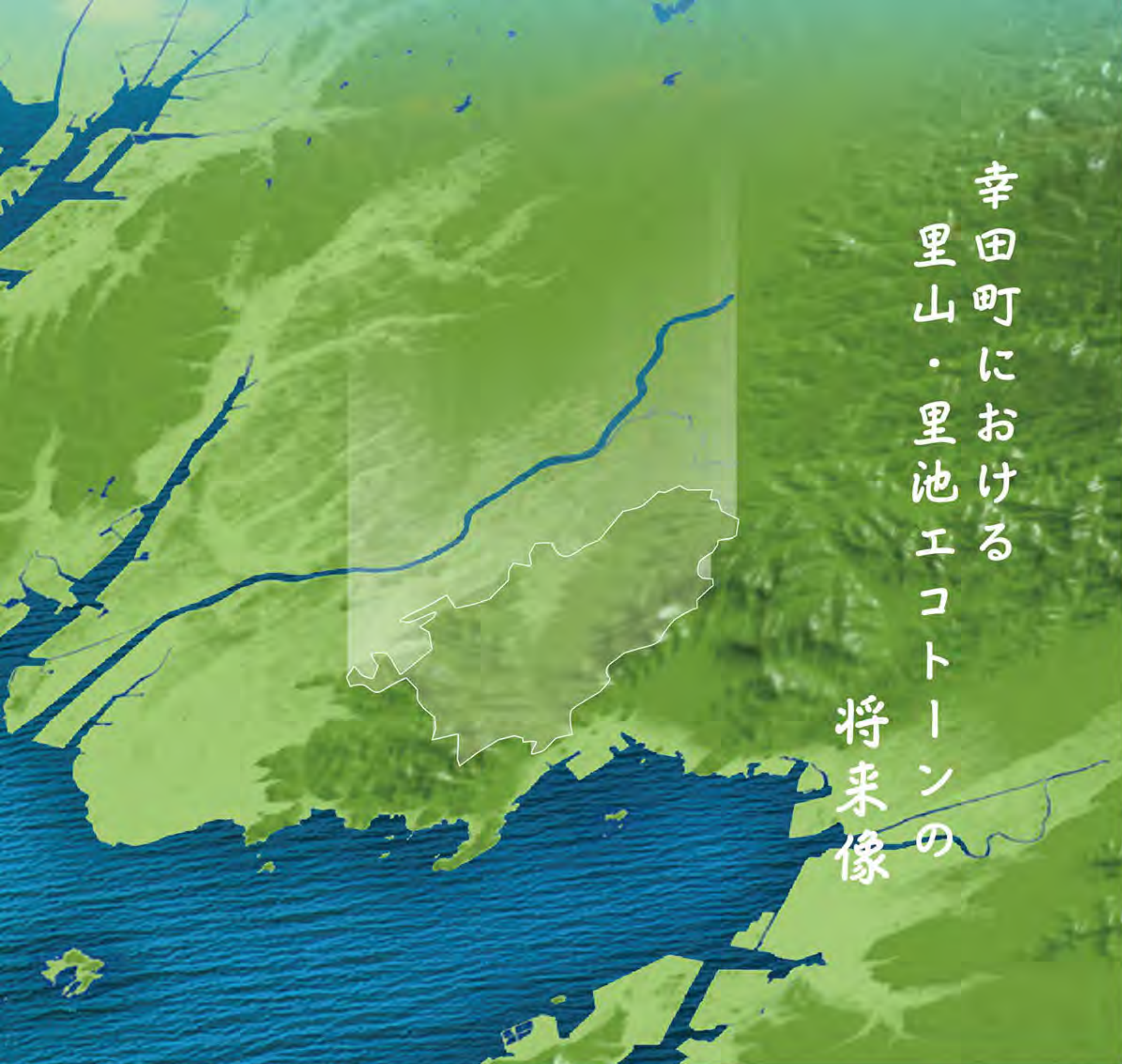
オーレリアンの庭は、アトリエの麓にあり、主に園芸種、プロックに分けてさまざまな植物が育てられています。その下に水田環境があります。

土手、あぜ、草地は定期的に草刈りが行われています。

ロケーション

愛知県の西三河地方南部に位置し、56.72平方キロメートルの面積を有する。東南にかけて遠望峰山(とほねやま、標高439メートル)を含む山地、南部の西尾市、蒲郡市との境界には三ヶ根山(標高325.7メートル)を中心とした山地、西部は標高100〜350メートルの山地があり、三方を山に囲まれている。中央部には、町名の由来となった広田川が遠望峰山の源流から北に流れ、西尾市で矢作古川に合流している。道路は、南北に国道248号、東西に名豊道路が通っており、岡崎市や蒲郡市、西尾市などと結ばれている。鉄道では南北に東海道本線が通り、東西を東海道新幹線が通過する。市街地は、幸田駅、相見駅、三ヶ根駅周辺に形成されている。このほかにも、町内各所に集落が見られる。

幸田町における
里山・里池エコトーンの
将来像



住む

Live in Kota Town

幸田町には町民が最も魅力を感じている里山、自然がある。里山は四季で移り変わる美しい景色で私たちの目や心を癒し、休みなく水を供給してくれるために作物が作れる。森や里、土を豊かにしてくれているのは虫や鳥たち。それらは、そこに住む私たちへの恵みと再認識し、豊かさに改めて感謝したいものだ。

働く場があり、都市圏へのアクセスもよく、豊かな自然に囲まれて生活する。都会では得られない贅沢な住環境が幸田町にはある。

徒歩で森に入れる散歩道があり、毎日森林浴が可能だ。間伐材は薪ストーブやバイオマス発電に使われる。春にはたけのこ掘り、夏には枝豆やじゃがいも、秋には幸田町ならではの筆柿やさつまいも。野菜や果物を近所の農家から分けていただき、お料理やお菓子にしてお返し。

お寺や神社が声をかけて、シニアも子どもも参加して、地域ぐるみで森を守る。そんな暮らしが里山エコトーンでは可能なのだ。

子育て

子どもの成長に適した環境

エコトーンでは、自然と触れ合う機会が豊富で、子どもたちがのびのびと成長できる環境です。庭のような森や公園で遊んだり、地元の農業・森林業体験に参加したりすることで、感受性や創造性が育まれます。地域社会のつながりが強いことが多いため、コミュニティ活動に参加することで社会性を身につけることもできるでしょう。

自然との近接性

エコトーンは都市部と自然環境の中間に位置しているため、都市へのアクセス性（ショッピングセンター、医療機関、公共交通機関など）を享受しつつ、自然豊かな環境にもすぐアクセスできます。仕事や教育で都市に通う必要があるが、週末に自然でリフレッシュしたい人にとっては理想的な住環境と言えます。

自然に囲まれ、森林、川、山などが気軽に散歩できる生活圏にあり、四季折々の自然を楽しむことができます。

健康生活

地元産の新鮮な食材

エコトーン地域では地元で生産された野菜や果物が入手しやすく、食生活が豊かになります。幸田町は海にも近く、三河湾の海産物も手に入ります。

コストパフォーマンス

エコトーンでは、都市部に比べて住宅費や生活費が抑えられます。広い庭付きの家や自然豊かな住環境が手頃な価格で手に入り、より快適な生活が実現できます。また自家栽培や地元の直売所を活用することで新鮮な食材を安く手に入られるため、生活費を抑えることが可能です。経済的な負担を軽減しつつ、質の高い生活を楽しめる点が大きな魅力です。

空気の清浄さ

都市部よりも空気がきれいで、健康的な生活を送れる可能性が高いです。

健康的な生活スタイル

散歩やハイキングやガーデニング

グなど、自然を利用したアクティビティが日常的に行えます。

静かな環境

都会の騒音が少なく、静けさを享受できるため、リラックスしやすい環境です。

コミュニティの絆

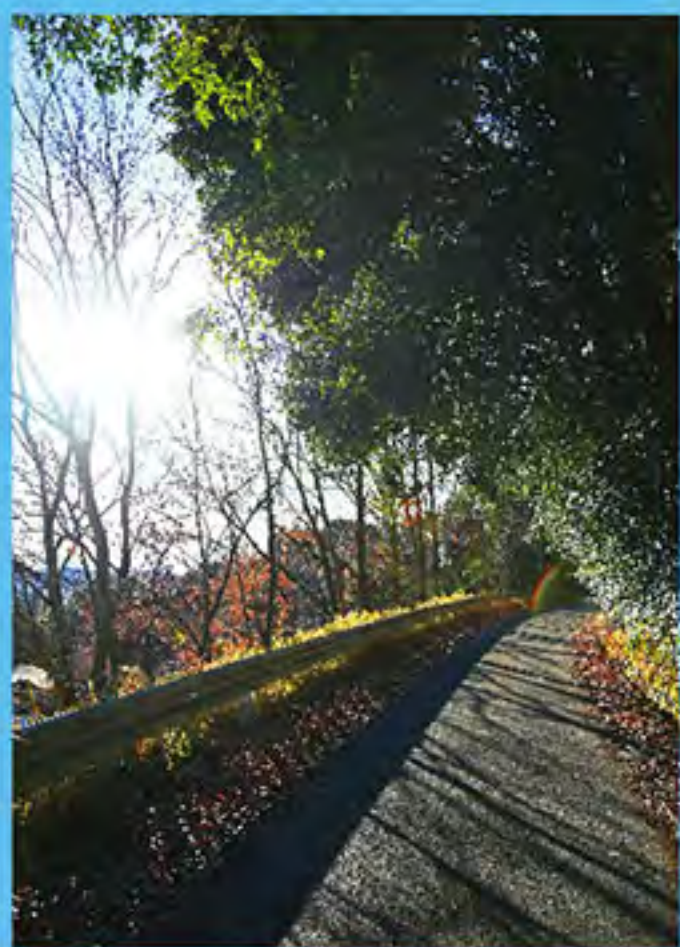
都市よりも住民同士のつながりが強く、地域社会の一体感や協力関係を感じやすいです。

低ストレスな環境

エコトーンでは、都市特有の騒音による不快さが少なく、穏やかな環境で生活できます。自然に囲まれた環境では、静かな環境で自分のペースを大切に生活を送るための心身の健康を維持しやすいです。



森へのアクセスが容易
幸田町には主要道路・生活道路から里山にアプローチできる林道が27本、すでに整備されています。そのうち安全に森林浴が楽しめるような林道が12本あります。



① 京ヶ峯線

ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社幸田サイトの東側から県道美合線につながる京ヶ峯山南側麓を通り洞ヶ入池を望むアスファルト舗装された安全な林道



② 一之小屋線

金星工業本社東側から一之小屋池を望み、隣接岡崎市につながるアスファルト舗装された安全な林道



③ 鷲ヶ峯線

大井池から猿田彦神社を望み、遠望峰山頂までつながるアスファルト舗装された安全な林道（こうた健康の道）



④ 鷲ヶ入中口線

猿田彦神社から大井池水際を通り、隣接岡崎市につながるアスファルト舗装された安全な林道



⑤ 富士見線

鷲ヶ峯線の中程から隣接蒲郡市境につながるアスファルト舗装されていないが安全な林道



⑥ 富士見支線

富士見線から隣接蒲郡市につながるアスファルト舗装されていないが安全な林道



⑦ 遠望峰線

不動ヶ池から貴嶺宮を望み、遠望峰山頂までつながるアスファルト舗装された安全な林道（こうた健康の道）



⑧ 遠望峰支線

遠望峰山頂から旅館天の丸につながるアスファルト舗装された安全な林道



⑨ 研山線

不動ヶ池から林道遠望峰線につながるアスファルト舗装された安全な林道



⑩ 伐岩線

貴嶺宮から鷲ヶ峯線に向かうアスファルト舗装されていないが、安全な林道（小さな小川が頂上まで林道の脇にある）



⑪ 須美南山1号線

道の駅筆柿の里幸田東側から須美山山頂を経て麓までつながるアスファルト舗装されていないが安全な林道



⑫ 三ヶ根線

小原川から三ヶ根山山頂につながる一部アスファルト舗装されていないが、安全な林道

育む

Nurture in Kota Town

幸田町には町民が最も魅力を感じている里山の自然があり、生物多様性の豊かなエコトーンがある。自然に触れる機会が豊富であることは、創造性や感受性を育むのに適しているのは間違いない。

人口減少、少子化対策などと盛んに言われるが、子を授かり、育てることは、純粋な人の本能であり、幸福感の大きな割合を占めるのではないだろうか？

ではどこで子育てをするのが良いのだろうか？ AIの一般化で、記憶力を競っても無意味な時代になり、未来を担う子どもたちに必要なのは、単なる学力ではなく、豊かな感性・感受性を育むことではないだろうか。

エコトーンエリアでの子育ては、子どもたちの五感の発達、運動能力の向上、社会性の発達、心の安定、そして創造性など、あらゆる面で成長を促すと言われている。

感性

五感の発達を促す

- 視覚…色鮮やかな花、様々な形の葉、小動物の動きなど、視覚的な刺激が豊富です。
 - 聴覚…鳥のさえずり、川のせせらぎ、風の音など、自然の音を聞き分け、心地よさを感じます。
 - 触覚…土の感触、木の肌、水の温度など、自然の素材に触れることで、触覚が敏感になります。
 - 味覚…自然の果実、作物を味わったり、ハーブの香りを体験して、味覚が豊かになります。
 - 嗅覚…花の香り、土の匂い、雨上がりの空気など、自然の香りを楽しむことで、嗅覚が刺激されます。
- ### 心の安定とストレス軽減
- 自然の中にとくとく、心身がリラックスし、ストレスが軽減されます。
 - 四季のサイクルに触れることで、心の安定感が得られます。

想像力と創造力の育成

- 自然を素材にして遊ぶことで、想像力が豊かになり、創造性が育まれます。

身体性

運動能力の向上

- 広い空間で自由に動き回れるため、運動能力が養われます。
- 自然の障害物を乗り越えたり、斜面を登ったりすることで、バランス感覚や体力が向上します。

健康な体づくり

- 太陽の光を浴びながら外で遊ぶことで、ビタミンDが合成され、骨の発育を促します。
- 自然の中で体を動かすことで、免疫力が向上し、病気にかかりにくい体になります。

知性

社会性の発達

- 自然の中で友達と遊ぶことで、協調性やコミュニケーション能力が育まれます。
- 自然を介して、大人や地域の人々との触れ合いも増え、社会性を育みます。

好奇心と探究心の育成

- 自然には、子どもたちの好奇心を刺激するものがたくさんあります。「なぜ?」「どうして?」という疑問から、自ら学ぶ姿勢が育まれます。

環境への意識を高める

- 自然の中で遊ぶことで、自然環境の大切さを実感し、環境保護の意識が芽生えます。
- ゴミ拾いや植樹など、環境保全活動に参加する機会も増えます。

自己肯定感の向上

- 自然の中で自分の力を発揮し、成功体験を積むことで、自己肯定感が高まります。
- 自ら課題を見つけ、解決していく力を養います。





「学びの場」としてのエコトーン
の可能性

エコトーンは、自然科学から社会科学まで、幅広い分野の学びの場として活用できる。
小学生の環境教育、中高生はSDGs、大人も自然との共生について考えることができる。
学校だけでなく、親子でもいいし、専門家を呼んで講座やワークショップ、自然観察ツアーリングも楽しい学びの場になるだろう。
シニアがインストラクターを務めたり、子どもが講師になってもいい。
それが評判となつて、環境観光や森林産業にもなつていく可能性を秘めている。

赤ちゃん
保育園・幼稚園
小学生

- 木育…木に触れ、木工の基礎を身につける。
- 里山保全…活動を体験して必要性を認識する。
- 里山遊び…原体験として記憶し地域への愛着を育てる。
- 多世代交流…教育者・保護者・高齢者と交わる。
- 生物の多様性…様々な種類の植物、昆虫、鳥類を観察し、生態系におけるそれぞれの役割を学ぶ。
- 環境の変化…季節ごとの植物の変化や、人間の活動が環境に与える影響を調べる。
- 水の循環…川や池の水の流れを調べ、水の大切さを学ぶ。
- 土壌の観察…土壌の種類や、そこに生息する生物を観察し、土の役割を理解する。
- 食の大切さ…野生植物の食べられる部分や、自然の恵みを使った料理を作る。

中学生
高校生

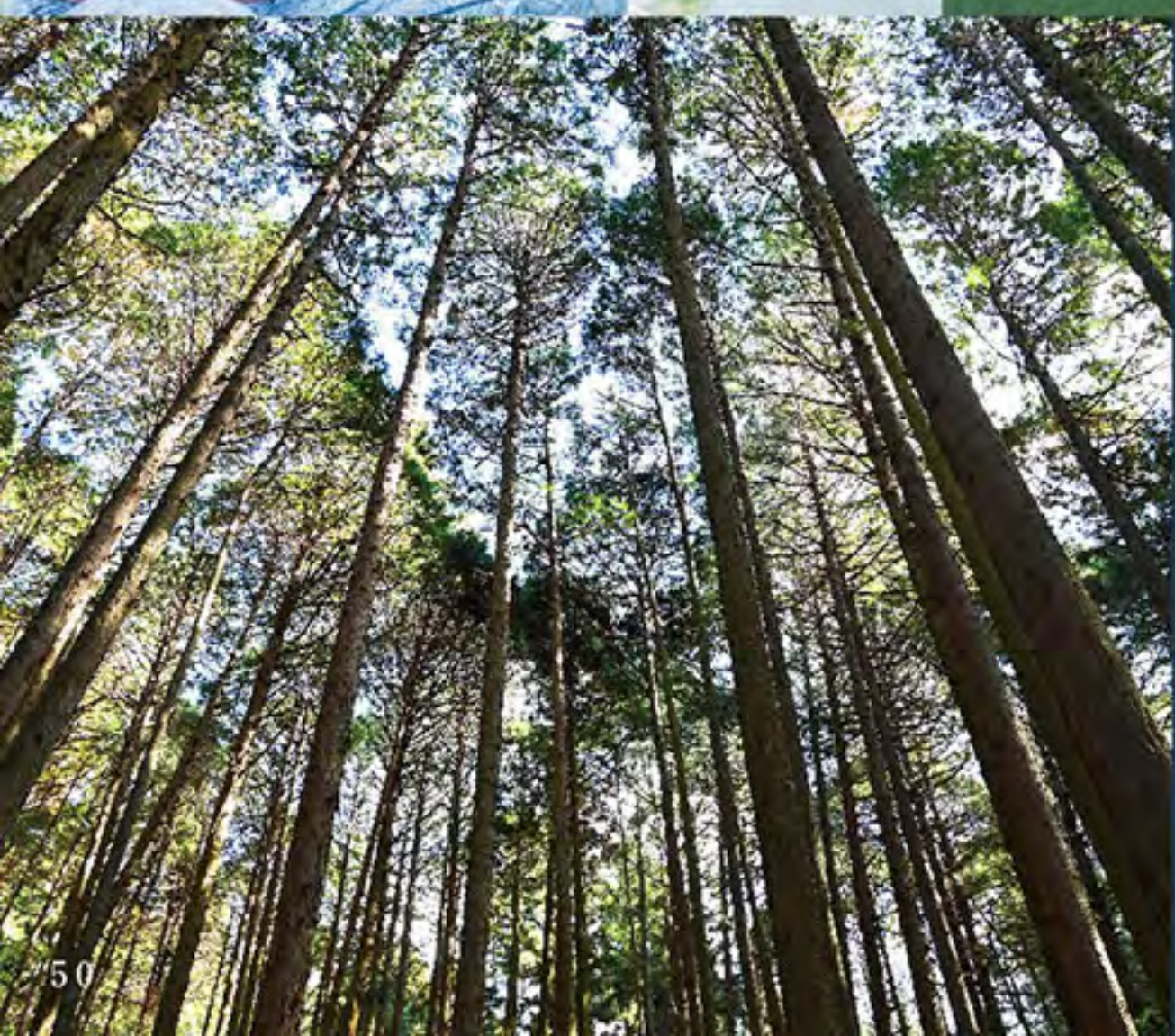
- 生態系のバランス…食物連鎖や生態系のバランスを理解し、人間の活動が生態系に与える影響について深く学ぶ。
- 環境問題…地球温暖化、水質汚染など、身近な環境問題について学び、解決策を考える。
- フィールドワーク…データ収集、分析を行い、レポート作成など、研究の基礎を学ぶ。
- 地域の歴史と自然…地域の自然史や、人々の暮らしと自然との関わりについて調べる。
- 持続可能な開発…持続可能な社会の実現に向けて、自分たちができることを考える。

大学生
高齢者

- 自然観察指導…子どもたちへの自然観察指導のスキルを習得する。
- 地域コミュニティの活性化…地域の自然資源を活用したイベント企画や、環境教育プログラムの開発を行う。
- 自然療法…野生植物の薬効や、自然療法について学ぶ。
- 芸術と自然…自然を題材にした芸術作品を制作したり、自然の中でヨガや瞑想を行う。
- 哲学と自然…自然から学ぶ哲学や、自然との共生について深く考える。

全年代共通

- 自然への畏敬の念…自然の神秘さ、偉大さを実感し、自然を大切にすることを育む。
- 問題解決能力…自然の中で直面する様々な問題を解決する力を養う。
- 協調性…グループで活動し、協力することの大切さを学ぶ。
- 観察力…細やかな観察を通して、自然の仕組みを理解する。
- 表現力…自然の美しさや感動を言葉や作品で表現する。



交 わ る

Meet in Kota Town



シュヴァルツヴァルトを 参考にする際のポイント

- 地域の特性を活かす：各地域の自然、歴史、文化といった特性を活かした交流プログラムを企画する。
- 住民の参加を促す：地域住民が主体的に活動に参加できるような仕組みを作る。
- 持続可能な観光を目指す：環境負荷の少ない観光を推進し、地域社会との共存を目指す。
- 世代間の交流：若者から高齢者まで、幅広い世代が参加できるようなイベントを企画する。
- 多文化共生：外国人観光客に対して、地域の魅力を伝え、共に地域を盛り上げていく。
- デジタルツール活用：ウェブサイトや SNS を活用し、より多くの人々に情報を発信する。



幸田町で実現可能なイベント

マルシェ、フリーマーケット、バーター（物々交換）市、伝統的な遊びやおもちゃ作りなどを通じた子どもと高齢者との交わり、ネイチャーゲーム、自然観察ツーリング、ご当地グルメ、郷土料理、昆虫・植物採集、風景撮影会、農林業体験、副業体験、ネイチャーセミナー・ワークショップなどが考えられる。



町民同士の交流促進

- 地域のイベント開催…定期的にマルシェ、フェスティバル、音楽会などを開催し、住民同士の交流の場を設ける。
- コミュニティセンターの活用…地域住民が気軽に集まれるコミュニティセンターを設け、様々な活動を行う。
- ボランティア活動の推進…環境整備や地域清掃などのボランティア活動をを通して、地域への愛着を深める。
- 伝統文化の継承…地域の伝統工芸や料理教室を開催し、伝統文化を後世に伝える。
- 協同組合の設立…地域の特産品を共同で販売する協同組合を設立し、住民同士の連携を強化する。

来町者との交流促進

- 体験機会の提供…木工体験、料理教室、収穫体験、ネイチャーゲームなど、里山ならではの体験型プログラムを提供する。
- 地域産品の販売…地域産品、特産品を販売する店舗を増やしたり、

マルシェを開催するなど、来町者に地域の魅力を発信する。

- 短期滞在…地域住民が来町者の短期滞在を受け入れ、交流を深める。

新町民との交流促進

- 里山勉強会の開催…里山の可能性や里山に住む魅力を学ぶ勉強会を開催したり、里山の歴史や自然に詳しいガイドを育成する。
- 里山体験ツアーの実施…地域住民、里山ガイドとともに里山に行き、里山の自然や魅力を体感していただく機会を作る。
- 里山イベントの共同開催…新町民によるイベントを共同で開催したり、一緒に SNS 等で幸田町の新しい魅力を発信する。



生きた里山

全ての生き物が生き生きと暮らせるまちの実現へ



人類が生まれておよそ700万年、都市の歴史はわずか3000年、3500年だと言われています。数百万年を山や動植物と共生してきた私たちが里山や水際に癒されるのはDNAの記憶であり、利便性を追求した代償として、都市生活者が失ってしまった安堵感なのかもしれません。

山からのひとしずくが川となり、里を流れ、海に注ぎ込む。山や森、水際、すなわち水と緑に恵まれた里山に住む私たちは、この地に生まれ、暮らすことができている幸運（奇跡と言ってもいいかもしれません）に改めて感謝したくなります。

私たちは、森が日常生活の中にある森林管理先進国のドイツに学ぼうとしています。ドイツの森林率は32.7%と日本の68.5%（先進国ではフィンランドの73.1%に次いで世界第2位です）の半分以下です。世界が羨む日本人の豊かな感性は、四季とこの森の恵みによって培われたのかもしれません。

私たちは先祖から受け継いだ景観や資産を守り、既存の林道を生かすことで、さらなる豊かな暮らしを享受できる可能性があります。そうなれば他地域の方から住む場所、未来を育む場所として、幸田町の大きな魅力に映ることでしょう。

世界中から訪れる人々から賞賛されることから「景観を守る人」という誇りを持つ、というシュヴァルツアルトの人々の気持ちにも通じるのではないのでしょうか。

現代人の私たちにとっての「生きた里山」とは、利便性と自然を兼ね備え、子どもから高齢者まで、いつまでも安心して、他の生き物たちと一緒に生き生きと暮らせるまちの実現が理想と言えます。まさにそれが幸田町が提唱する「里山ウェルビーイング」であり、実現に向け大きな可能性を秘めた里山が私たちの目の前にあります。

町民の皆さんにそんなことを感じていただいたり、仕組みづくりには時間もかかるでしょうし、ハードルや課題もたくさんあります。我々幸田町生涯現役推進協議会（幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター）は、町民、事業者、行政の皆さんの間で、第三者として意見調整をしながら、各種調査、勉強会、社会実験、就労支援など、町民の皆さんの課題解決に向けて、必要とされている事業を通じて、使命を全うしたいと考えています。

水晶山から浜道(三河湾・瀧美半島)を望む
(豊坂・深溝小学校区)



里山・里池
エコトーンに
想いを馳せて



遠望峰山から幸田町・岡崎平野を望む
(荻谷・豊坂小学校区)

次代の幸せの姿を模索する 新しい「Satoyama」まちづくり

東西南の三方を緑豊かな里山に囲まれた幸田町の、西の里山の一つに「水晶山」があります。この山のふもと、高台の住宅地と低地の田園との境界に立地する多世代交流施設「豊坂ほっと館」を設計しました。はじめにこの地でフィールドワークをした際、三河湾からつながる、古地図にも描かれた「浜道」の魅力に気が付き、これを設計の手がかりとしました。ほっと館周辺の浜道を南から歩くと、こども園を起点に、何度も緩やかに曲がりながら古い社寺のある六栗の集落を抜け、棚田とため池の脇を通り、屋敷林を経て、高台から幸田町の街を見渡し、保育園や小学校に至ります。道すがらの環境がとても変化に富んで楽しいのです。そこで、きつと素晴らしい散歩道になるであろう「浜道」の中間地点、休憩所として子どもを中心に多世代が立ち寄りやすい施設となることを考慮しました。そして今後は、本冊子で紹介された多世代の方々の、多様な里山ウェルビーイング活動の起点の一つになるか

も知れませんが、幸田町には、多様な樹種が四季折々の表情を見せる里山があり、エコトーンを生み出す棚田とため池があり、屋敷林が残り、歩いて楽しい古い道と集落が残って、寺などの歴史があります。さらにグローバル企業の工場が立地して新しい住宅地も広がります。「ほっと館」などの交流施設を「つなぎ」として、これらの環境資源を結びつけて活用し、昔ながらの人のつながりを生かして、新しい暮らしを作ろうとするまちづくりのビジョンがあります。

本報告書には、次の時代の人々の暮らしと子どもの成長に必要なとする「森林業」などの新しい発想が示されました。決して昔ながらの「里山」を守ろうという活動ではなく、新しい「Satoyama」を作ろうという決意表明であり、これからの都市デザインに求められる現代人に必要な「癒し」を備えたまちづくりの、幸田町発の提案となっています。



太幡 英亮氏

長野県出身。保育園や小学校では里山散歩を楽しみ、冬はスキーで雪山散歩(クロスカンツリー)をして育つ。2004年、東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻 博士課程修了。渡辺誠/アーキテツツオフィス、東北文化学園大学助教、名古屋大学助教・准教授などを経て、2023年より名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 建築・都市領域 教授。専門は建築計画学及び建築設計。人間の身体・心理・行動・交流の観点から、子ども・子育て関連施設、大学施設・キャンパス空間、住環境や景観などを研究し、設計を実践する。博士(工学)、一級建築士。




幸田町多世代交流施設 豊坂ほっと館(2018)
(豊坂小学校区)



幸田町は
里山一番地

報告者

 幸田町生涯現役推進協議会

愛知県額田郡幸田町大字上六栗字堀合 41 番地 1

幸田町生涯現役館内

事務局：幸田町シニア・シルバー世代サポートセンター

tel 0564-73-0050

発行：令和7年3月

令和6年度厚生労働省生涯現役地域づくり環境整備事業